

2024 第4回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【英語】

今回は学年の最後のテストであり、次の中3への橋渡しとなる中2の復習内容を含めた問題構成です。また、今までの第1回～第3回よりも文法などの客観問題に比べて読解問題の割合が非常に高くなっています。

1 対話文読解問題

マークは宝くじを買おうとしますが、スーザンはそれが無駄だと反対します。マークは「買わなければ当たらない」と主張しますが、スーザンは当たる可能性はほぼないと指摘します。さらに、スーザンは生活必需品（牛乳やパンなど）を買う方が大事だと説得します。マークは宝くじを買えば大金が手に入ると夢見ていますが、スーザンは現実的な買い物を優先すべきだと強調します。最終的に、宝くじが当たればケーキを買う約束をし、当たらなければ生活必需品を買うという結論に落ち着くという内容の対話文です。設問は内容把握ができていないかを問うものが主となっていますので、正確に読解することが必要です。問5の否定文の内容に対する Yes, No の応答については間違いやすいので、しっかりと理解しておきましょう。問6の Just because …; it doesn't mean … は覚えておくべき表現です。

2 長文読解問題 1

ケンは大恐慌の時代に高校を卒業し、選べる仕事がほとんどありませんでした。夏には巡回遊園地でポニー乗り場の仕事をし、子どもたちを優しく助けていました。秋になると仕事がなくなり困っていた時、ある工場が従業員を一人募集していると聞き、急いで応募しました。多くの求職者の中からケンが選ばれた理由は、遊園地で一人の少女を安心させた優しい行動を父親であるマネージャーが見ていたからでした。その後、ケンは工場で40年間働き続けましたという内容です。問2の不定詞の打ち消しである not to …… の形は覚えておきましょう。問6の mean の用法は、文脈から把握することが重要です。問12の感想文は本文の内容を踏まえて、対応する語いの知識も必要です。また品詞を意識していれば、それも手掛かりにして選択できるでしょう。

3 長文読解問題 2

ロンサム・ジョージは、ガラパゴス諸島のピンタ島にいた最後の固有種のピンタゾウガメでした。かつて島には多くのピンタゾウガメがいましたが、人間が連れてきたヤギが植物を食べ尽くし、棲息環境が破壊されました。1971年に発見されたジョージは、保護のためチャールズ・ダーウィン研究所に移されました。ジョージは多くの人に愛され、種の保存の重要性の象徴でしたが、仲間を見つけることはできませんでした。2012年に100歳で死に、彼の種は絶滅しました。ジョージの物語は自然保護の大切さを教え、多くの人々に影響を与えていますという内容です。問1は単語・熟語の知識を問う問題、問7は感嘆文、形式主語構文、take care of… という熟語の知識と理解を問う問題です。文法力とともに語い力の増強にも注力した学習を行うことが必要です。

4 共通語問題

頻出の文法・語法問題です。2文のうち入れやすい方から決めていき、もう一方にも当てはまるかを検討すればよいでしょう。

5 連立完成問題

1は<as many + 複数名詞 + as …>の語順が重要です。2の<look forward to +ing>は最重要熟語の1つです。

6 適語補充問題

文脈をおさえながら読解し、空所に適する語を考えていく力が問われています。単語・熟語の知識も高めておくことが重要です。

2024 第4回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【数学】

中2で学んだ分野を中心に、平面図形までの中から幅広く出題しました。単純に正解したかどうかを見直すだけでなく、正しい根拠から導くことができたかを思い出しながら、復習にあててください。3年生では1次方程式に加え2次方程式、合同に加え相似が登場します。苦手意識のある分野やあやふやな部分は、今のうちに対策しておくといよいでしょう。

1 計算問題（多項式の加減、単項式の乗除、連立方程式）

基本的な計算問題が中心ですが、(4)が難しかったかもしれません。式の対称性に気づけるかどうかのポイントです。本問に限らず、すべての係数に1より大きい公約数があるときは、割っておくことで見通しを立てやすくなったり計算しやすくなったりすることがあります。

2 小問集合（比例・反比例のグラフ、回転体の体積、おうぎ形、立体図形）

(1)は、ある範囲内の格子点(x, y 座標がともに整数の点)を数える問題です。(2)は円すいの体積を求める問題に帰着します。(3)は各頂点を中心としたおうぎ形が現れますが、図を想像しにくく、難しく感じた人も多かったかもしれません。(4)は補助線をひけばひし形が現れますが、立体の中で考える必要があるので、自力で見つけるのは容易ではなかったでしょう。 $\triangle BMH$ を直角二等辺三角形と決めつけて解答を 45° とした人や、根拠なく解答を書いた人は、解説を理解しておいてください。

3 関数と図形（直線の式、等積変形）

1次関数とさまざまな四角形に関する理解を問いました。(1)・(2)は問題なく正解できるようにしてほしいです。(3)(i)は基本的ですが、文字式の扱いに戸惑った人もいるかもしれません。できなかった人はきちんと復習をしておいてください。(3)(ii)は図形的な考察をするよりは、直接面積を求める式を立てたほうが解きやすいでしょう。

4 連立方程式の利用（速さ）

頻出の文章題です。算数で登場する旅人算を用いて解くことも可能ですが、連立方程式をつくることにも慣れておくといよいと思います。状況を適切に捉えられれば、(1)・(2)ともにあまり難しくはないはずです。

5 平面図形（三角形の合同，直角三角形）

(1)は基本的な証明なので，穴うめでなくてもきちんとかけるようにしておきましょう。(2)は構図を見抜くのが難しいですが， $30^\circ \cdot 60^\circ \cdot 90^\circ$ の三角定規の形が見つかれば道がひらけます。(3)では，2点F，Mが一致することさえわかれば答えが求められます。混乱しないように，問題中にある図とは別の図を改めてかいてみるのもよいでしょう。

6 連立方程式の利用（整数）

見慣れない記号や言葉に惑わされないで挑むことが求められます。(1)は \bar{b} に関する方程式とみなします。(2)は(1)の連立方程式バージョンですが，実は \bar{x} ， \bar{y} だけなら1行目の式だけから定まります。あとは2行目の式を使えば x ， y が求まります。文字を置き直したり，範囲を設定したりする工夫が必要です。あまり解き慣れないタイプで，本テストにおける最難問です。

2024 第4回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【国語】

二年生最後のテストとして、学年総ざらいということで基本的な読解力やその応用力、思考力の一定の到達度を確かめることをねらいとしています。

目標点は45～50点。

㊦ 漢字の読み書き

よく出題される基本的なもの、間違えやすいもの、意外に書けないものなどいろいろ取り混ぜて出題しています。(2)「忌避」・(3)「稚拙」は間違えて書くことが多いでしょう。しっかり覚えましょう。(5)・(7)の読みは頻出です。こちらも確実に覚えておきましょう。

㊦ 小説文の読解…………… 北杜夫「百蛾譜」

病弱の少年が「美しい蛾」に魅せられ、蛾を追いかける夢を見る小説です。少年やそれを見守る母親の心情を読みとってほしいです。語句の意味、状況説明、心情分析などさまざまな角度から出題し、正確な読解力と的確な記述力を求めました。問一は母親の心情を選ぶ問題。問三は少年の心情を選ぶ問題。それぞれを丁寧に読み取りましょう。また記述問題は、どこまでが解答として必要な内容かを精査して書くことを学びましょう。また問八で出題しているように、この文章の作者の北杜夫は歌人の斎藤茂吉の次男で、長兄は随筆家の斎藤茂太であることは知識事項として知っておきましょう。文学史の問題などでときおり出題されます。

㊦ 論説文の読解…………… リービ英雄『バイリンガル・エキサイトメント』

外国人でありながら日本語で小説を書く筆者が、日本語について様々な体験をもとに考察していく内容の文章です。字数の制限により結論まで引用することができませんでしたが、日本語の可能性を論じた興味深い論説文です。実際に体験した出来事からいかに自分の考えに至ったのか、筆者の思考の過程を意識して読むことが必要となりますが、それほど難解な文章ではないので丁寧に文脈を追っていけば主張を読み取ることはそれほど難しくなかったと思います。段落ごとに正確に内容を読みとり、筆者の主張を理解することをねらいとしています。

四 古文の読解………… 『古今著聞集』 卷十七「斎藤助康、丹後国へ下向し古狸を生け捕る事」

入試に頻出の説話集からの出題です。物語の展開と人物関係をどれだけ理解できるかがポイントです。人を襲って取り殺す化け物がいるというお堂に入って夜を明かした主人公が、化け物の正体を暴いて捕まえたというエピソード。物語の展開をしっかりと追い、誰の行動か、誰が話した言葉か、誰が思った事からか、それらを丁寧に読み取っていきましょう。

五 文法

自立語についての出題です。基本的な文法事項が身に付いているかを確認することがねらいです。文の中にある品詞の種類判別、動詞の活用種類と活用形、副詞の修飾について、副詞と助動詞と形容動詞の見分けなど、迷いやすいことを出題しているので、間違えた場合はしっかり復習しておきましょう。